

水辺に学ぶ体験レポート

VOL. 6 山口県大島郡 周防大島町立久美保育所

「楽しく」をキーワードに体験と創作を重ね逞しい心身を養う



瀬戸内海に浮かぶ周防大島にある久美保育所では、その豊かな自然環境の恩恵を受けながら、日常的な体験とそれを表現する創作活動を行っています。そのキーワードは「楽しく」。園児の感性のままに体験を進め、また創作を通じて、さまざまなものを吸収することで、逞しく生きる力を養っています。

※平成 27 年 7 月取材

山口県大島郡 周防大島町立久美保育所



「全国児童水辺の風景画コンテスト」は、子どもたちが水辺に出かけ、そこでの発見や体験を通して感じたこと・学んだことを自由に描くことで表現力や感性が生まれ、心身ともにのびのびと逞しく成長することを願い開催しています。

■ 体験と創作機会 で健全な成長を促す

本州西端に位置する山口県、そこに面した瀬戸内海に浮かぶ周防大島は、美しい海と砂浜と山々からなる自然豊かな島として、夏場は多くの海水浴客で溢れるリゾート地。久美保育所は自然豊かな立地にあることから、海を題材にした多くの作品を平成 23 年から応募いただき、毎年入選を果たしているほか、これまでに 2 点の作品が入賞しています。

取材を行ったこの日、園児は近くの「ビー玉海岸」の海開きに参加する予定でしたが、当日はあいにくの天候となり中止。しかし、七夕ということで園児全員が参加する七夕集会を見学し、自然体験や創作活動などについてのお話を伺いました。

その中で園児からは、先生方が話す七夕の物語を真剣に聞いたり、全員が大きな声で短冊に書いた願いごとを発表したり、園で行っているフラダンスを踊ったりと、好奇心旺盛で活発な様子が伝わってきます。「とにかく久美保育所の園児はがんばり屋さんですよ！」と話すのは光井文夫所長。「園のイベントだけでなく、町の催しにも引っ張りだこで、とても忙しいと思いますが、本当に最後までがんばる子たちです」と胸を張ります。

年長クラスを担当する河内愛先生も「近年の子どもはコミュニケーションがあまり上手ではなくなっていると言われますが、園の子どもたちの“伝えようとする力”はとても高いほうだと思います。同時に、何事にも関心を持って一生懸命に取り組むところは自慢ですね」と話してくださいました。

こうした園児の姿勢を築いたのは、日頃から自然に親しむ機会を積極的に取り入れているご家庭や保育士の皆さんの努力の賜物ですが、その体験を作品として表現するまでの一連の取り組みも、園児の成長に大きく寄与しているようです。



久美保育所は平成 23 年度、平成 26 年度の 2 回、入賞を果たしている



海開きの時には、元気な園児たちの歓声であふれる「ビー玉海岸」



七夕集会、先生が語る七夕の物語を興味津々に聞く園児たち

■ 園児の素直な興味を尊重することが大切

久美保育所では、海開きへの参加、タマネギやイモ掘り、親子旅行で行く水族館での生き物との触れ合い、そして日頃から広い園庭を使って、昆虫、植物、土、水などの自然と触れ合う小さな体験(遊び)を数多く行っています。そこでは、何かを特別に指示するわけではなく、例えば土の中から出てきたミミズを観察したり、草の間を飛ぶバッタを追いかけたり、土の団子づくりに集中したりと、興味の方向転換や問いかけは集中力を削いでしまうため、園児の素直な行動を尊重するよう心がけています。このようにまずは楽しむことを優先し、それを積み重ねることで、再び「やってみたい！」と思える興味や関心が育っていくように取り組んでいるそうです。

こうして楽しい体験をした後には創作活動が待っています。「大切なのは、記憶を蘇らせ、不思議に感じたことを引き出し、好奇心を膨らますため、園児とたくさん会話することです。海はどんな色だった？ お魚はど

んな形だった？ など、視覚や触覚(大きさ、形、色、感触)について話しながら少しずつ記憶を掘り起こしていくと、それが起爆剤となって筆が進み、また私たちにいろいろなことを教えてくれたり、疑問に思ったことを聞いてきたりするようになります。そして作品についても、良いところを見つけて話しかける。これを繰り返すことで、自然についての知識だけでなく、コミュニケーション力も高まり、興味を持ち集中して最後までがんばる気持ちが生まれているのだと感じています」(光井所長)



七夕飾りのお話や七夕の物語を聞き、自然のありがたさを学ぶ園児たち



絵画だけでなくさまざまな創作活動を通して園児の成長を促している



「できるだけ多くの体験をさせてあげたい」と話す光井所長

■ すべては将来に向けた逞しい心身を養うために

注意しなければならないのは、創作活動のために体験するという発想になってはならないこと。「正直に言えば、ついつい頭の中にコンテストのことを思い浮かべてしまいます。だから、園児にこんなことをさせたいなど考えてしまうのですが、それはグツとこらえて、まずは楽しむことを優先させています。だから水辺の風景画コンテストへも、たまたま園児たちの作品の中にピッタリのものがあったから応募したんですよ」と河内先生。

結果的に良い作品が出来上がるのは、楽しい体験ができたかどうかポイントで、作品を見た他の先生からも「楽しかったことがよくわかるね！」との声をもらえるらしく、そんな時は心の中で密かにガッツポーズを作っているそうです。

生き物との触れ合いを通して命の大切さを学んだり、海で遊ぶことを通して自然について学ぶだけでなく、すべての体験や創作活動には、「先生・友達・家族との会話を通して相手の気持ちを考える力や、興味のあるものを見つけてそれを探求する力を養おうという思いを込めています。どれも基本的なことではありますが、園児の心身を逞しく成長させるとともに、将来のかけがえのない財産になると考えています」と先生方は話してくださいました。

このように久美保育所では、体験・創作活動を「生きる力」へとつなげています。これからもたくさんの楽しい体験を通して、先生たちが願う「逞しい大人」へと成長してくれることでしょう。



タマネギ掘りの様子。今年はぶどう狩りなど新しいイベントを企画している



園で指導しているフラダンス。町内のさまざまなイベントでも披露している



河内先生と年長クラスの子どもたち。強い信頼と絆で結ばれている